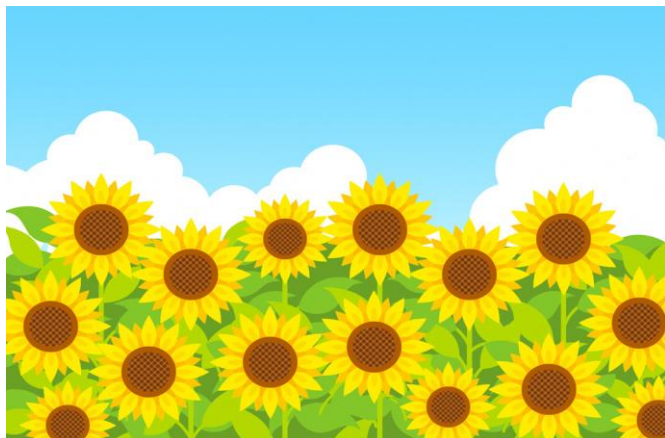


令和元年度第2回入退院時支援部会を開催しました



2019年8月26日（月）上越市福祉交流プラザ

今回は7月に実施した、アンケート結果を基に、入退院時の連携に関する研修会の内容及び今後のスケジュールについて、検討しました。

【第2回部会協議内容】

1. 部会で実施したアンケート結果について

「ケアマネジャーと病院の連携ガイドライン」「入退院時連携フロー図」「地域連携連絡票」の活用に関するアンケート結果。

(1) 地域包括支援センターとケアマネジャーへのアンケート 230人/295人(在宅ケアマネ232人+包括63人)=回収率78%

ケアマネジャーと病院の連携ガイドラインと連携フロー図の認知度は高く、地域連携連絡票も活用されています。地域連携連絡票は入院時には活用されていますが、退院時に使う方は少ないことがわかりました。

- ①ガイドライン・フロー図を知っている88%
- ②地域連携連絡票を使っている77%
- ③地域連携連絡票をケースを担当した時に作成63%
- ④地域連携連絡票を入院時に病院に提出71%
- ⑤地域連携連絡票を退院時カンファに活用27%

(2) 医療機関へのアンケート 9病院(31病棟)/12病院=回収率75%

地域連携連絡票は、対象者の生活歴や家族関係、ADLやサービス利用状況の確認で活用されており、退院時カンファレンスやサマリー、本人の思いの確認などにはあまり活用されていませんでした。また、訪問看護チェックリストは、知らない人が多く、あまり周知されていないことがわかりました。

地域連携連絡票を毎回活用している割合

- ①院内の情報共有 16%
- ②対象者の生活歴や家族関係 26%
- ③ADLの確認 32%
- ④本人家族の思いを確認 10%
- ⑤本人のサービス利用状況の確認 29%
- ⑥退院前カンファレンスで見直す 3%
- ⑦リハビリや看護目標設定に参考にする 10%
- ⑧退院時サマリーに活用0%

訪問看護チェックリストについて

- ①訪問看護チェックリストを活用している6%
- ②修正したほうがいい部分がある6%

※今回のアンケートで分かったことを、9月13日の研修会や今後の部会活動に役立てていきます。

2. 入退院時支援部会で実施する研修会（入退院時の連携に関する研修）について

直江津地区3包括合同で実施します。

日時：9月13日（金）13:30～15:30

会場：上越市民プラザ

内容：研修会の趣旨説明、アンケート結果報告
地域連携連絡票の活用について
事例報告（ケアマネ、医療機関）
グループワーク

※ファシリテーターは多職種連携研修会養成リーダーにお願いします。

3. 今後のスケジュール

第3回目部会は2月に開催（予定）。